

※ 受理警察署	署						
※ 受理番号		※ 受理年月日		年		月	日

※印欄は記入不要

服装届出書

警備業法第16条第2項の規定により届出をします。

服装を用いて警備業務を開始する前日までに届け出る。

〇〇年 〇月 〇日

京都府 公安委員会 殿

届出者の氏名又は名称及び住所
 京都市〇〇区△△町1番地1
 □□警備保障株式会社 ⑨
 代表取締役 京都太郎

(フリガナ) 氏名又は名称	シカクシカクケイヒトホシヨウ(KK)		フリガナはカタカナで記入し、 濁点は1文字と数える。姓と名は1マス空ける。 なお、株式会社は「KK」、有限会社は「ユウ」と略記する。	
認定証を交付した公安委員会の名称	京都府 公安委員会			
認定証の番号	00000000			
服装	色	型 式		
		別紙のとおり		
	標章	位置	型	
			別紙のとおり	
当該服装を用いて行う警備業務の内容		別紙のとおり		
		別紙を使用する場合は、「当該服装を用いて行う警備業務の内容」についても「別紙のとおり」と記入して、別紙を使用する。		

記載要領

- ※印欄には、記載しないこと。
- 届出者は、氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。
- 「服装」欄には、服装の種類ごとに記載すること。
- 「型式」欄には、図示して記載するものとし、標章については、その大きさを明示すること。
- 「当該服装を用いて行う警備業務の内容」欄には、当該警備業務の具体的な内容及び当該警備業務が海上に及ぶ場合にあってはその旨を記載すること。
- 所定の欄に記載し得ないときは、別紙に記載の上、これを添付すること。

備考

用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

別紙 1

		色	型	式
服			1号制服（冬用男子制服）	
	薄水色		帽子（ヘルメット） （右図のとおり）	帽子（ヘルメット）の図 帽子又はヘルメットの図を 記載する。記載場所は、枠 内であればどこでもかまわ ない。
	薄水色		上衣（右図のとおり） えり＝折りえり式さがり えり 肩章＝外側の端を両肩の 目に縫い込み えり側を金色ボタン1個でとめる。 前面＝中央に金色ボタン4個を1行につける。 左右の胸部にポケット各1個をつけ、 ふたの中央を金色ボタン各1個でとめる。 左右の腰部に飾りふた各1個をつける。 後面＝その中央部をさく。 そで＝長そでとし、両そでの下端部に 金色ボタン各2個をつける。 ネクタイ＝濃紺色のネクタイをつける。	「色」の欄には、帽子又はヘル メットの色を記入する。形式の 欄には、それらを図示して「図 のとおり」とすると簡便である。
装	紺色		ズボン（右図のとおり） 長ズボンとし、両脇に斜縦ポケット各1個、 広報両側にポケット各1個をつける、 広報右側ポケットは金色ボタン1個でとめ、 広報左側ポケットにふたをつけ、その中央を 金色ボタン1個でとめる。	「型式」の欄には、上衣の前面 と後面の形状を図示して、それ ぞれの説明を簡潔かつ具体的に 記入する。
標章	位置		型	式
	胸部		胸部標章の図	左右が同じ形状の場合 は、一方の図を記載す るだけでかまわない。
	上腕部		上腕部標章の図	標章の図は、この欄 では簡略に記入し、 原寸大で面積を計算 できる図は別紙とし て作成する。
当該服装を用いて行う 警備業務の内容		スーパー、テナントビル等の屋内で実施する施設警備業 務		

別紙 2

胸部標章（原寸大）

四角形 A B C D の面積



$$\text{縦 } 5 \times \text{横 } 12 = 60$$

$$\underline{60 \text{ cm}^2}$$

標章の原寸大の図を示し、それらの寸法と面積の計算の根拠を示して 60 cm^2 以上であることを示す。

上腕部標章（原寸大）



四角形 A B C D の面積

$$\text{縦 } 5 \times \text{横 } 12 = 60$$

$$\underline{60 \text{ cm}^2}$$

面
側

面
側

縦 12 cm × 横 8 cm
無背景のカラー写真

縦 12 cm × 横 8 cm
無背景のカラー写真

制服を着用した警備員の正面及び側面の写真を各1枚貼り付ける。
なお、写真は無背景のカラー写真で、縦 12 cm × 横 8 cmの大きさであること。